

Procedures CONSULT は、医学生や研修生の手技能力を向上させるための、包括的で柔軟な手技学習管理システムです。日々の診療で必要となる手技について分かりやすく解説し、医学生、研修医のみならず、薬剤師、看護師などその他の医療従事者も幅広く利用することができます。

Procedures CONSULT 3 つの特徴

◆動画解説付き、臨床手技データベース

診療科別に日英 2 ヶ国語で解説した「手技コンサルト」と、医学生・研修医向け基本手技を日本語で解説した「医学生・研修医コンサルト」の 2 種類から構成されるコンテンツです。テキストに動画解説が付いているため、短時間で効率良く手技を習得することができます。

「手技コンサルト」は、診療科目・副診療科目をクリックするとカテゴリー内の手技が一覧表示されます。他にも人体図から該当部位を選択する方法や、検索ボックスにキーワードを入力して検索する方法があります。また、手技を行ってはいけないケースや手技後の合併症リスクについても掲載しているため、1 つの項目から手技前後のケアについても学ぶことができます。

「医学生・研修医コンサルト」では、診察の基本や臨床推論、EBM 実践講座なども受講でき、予習・復習が可能となっています。

◆ファイルシェアリング

院内講習会や新製品の導入案内など、重要な情報を共有できる機能です。施設管理者は、情報共有範囲を①Procedures CONSULT 導入済の全施設 ②学内 ③学内の特定グループの 3 種類から選択可能です。学内のみならず他の施設とも情報共有することで、各施設での取り組み内容の把握や、質の高い研修プログラム設計のヒントを得ることができます。

◆課題管理

登録ユーザーは、施設管理者が作成した課題を画面上から履修することができます。割り当てられた課題と手技内容について確認しテストを行うと、その課題を実施したことになります。課題ごとに合格点数が設けられており、合格するまで何度でもテストを受けることが可能です。理解度を数値化することで、管理者は分析・評価しやすくなり、利用者は手技内容の学習はもちろん詳細な解説により自身の弱点を克服することができます。

本学では医師卒後臨床研修センターの管理により、臨床研修医の教育・学習に活用しています。

*** 図書館トリビア ***

第 17 回図書館総合展(平成 27 年 11 月 10 日～12 日)で「図書館キャラクター・グランプリ」(<http://www.libraryfair.jp/character>)が開催されました。「見た目で勝負」、「館の働き者」、「図書館サポート」の 3 部門が設けられ、岩手医科大学リポジトリ広報大使の「めいちゃん」も「見た目で勝負」部門にエントリーしました。図書館員の愛がこもったキャラクター達は、個性があり見ているだけで楽しめます。投票期間は終了しましたが、応募作品は「エントリー名鑑」でご覧いただけます。

メールマガジンに関するご意見・ご質問は、図書館 toshosho@j.iwate-med.ac.jp まで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館